

平成30年度 学校評価実施報告書

学校名（上京中学校）

教育目標

人・物・時を大切に

豊かな心をもち、たくましく生きる力を備えた、自律的に生きる生徒の育成

年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し <small>(下記の数値は「そう思う」「大体そう思う」を合算したものとする)</small> 教育目標について、生徒は89.7%、保護者は98%が達成できていると回答している。教職員は、重要度、実現度ともに100%ではあるが、その内訳は「重要である」が86.7%に対して「よくできている」が33.3%と低く具現化できていないことがわかる。教職員の具体的な取組と働きかけが必要と考える。また、本校教育目標を達成するための礎として、保幼小中の一貫教育における自己肯定感・自己有用感の育成を柱として互いに連携しながら教育活動に取り組む。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 上京中学校の教育については、生徒も概ね落ち着いた学校生活を送っており、全体的には評価していただいている。次年度に向けても、学校教育推進のため、学校運営協議会とPTAが協力してあいさつ運動、美化活動、体育大会への支援、土曜学習の補助および上京中ふれあいコンサートなどの保幼小中合同行事への支援を引き続き行っていただく。

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	平成30年10月22日	学校運営協議会
最終評価	平成31年2月14日	学校運営協議会

（1）「確かな学力」の育成に向けて『学力向上プラン』

重点目標

「学ぶ楽しさわかる喜び」を実感できる授業の創造と支え合い高め合う集団づくりを推進する。

具体的な取組

- ◎確かな学力の育成を目指し、基礎・基本の定着を図る。
 - ◎習得した知識・技能を活用する学習活動の充実、問題解決的な学習や探究活動の充実、言語活動の充実をはかり、思考力・判断力・表現力の育成を目指す。
 - ◎学習課題に応じた「まとめ」「振り返り」を行う。
 - ◎支援を要する生徒に対する指導の目標や内容を明確にし、総合育成支援教育の充実を図る。
- ①全国学力・学習状況調査や学習確認プログラムを計画的に取り組ませる。また結果の分析を行い、学力実態を把握し、課題を明確にすることで、授業改善や指導の工夫に取り組む。
- ②年間指導計画に基づき、授業のねらいを明確にした授業を開く。また「目標に準拠した評価」や「指導と評価の一体化」の充実を図ることで、効果的な学習評価を実施する。

- ③校内研究授業（6月・11月実施）や支部授業研修会、研究授業週間における授業交流などを通して指導力向上にむけて研鑽を積み、各教科で問題解決的な学習や探究活動の充実を目指す。
- ④「学習のすすめ」や「学習の手引き」を作成し、家庭学習の充実と習慣化をはかる。
- ⑤定期テスト前や、長期休業期間を利用した補充学習を実施する。また土曜学習を活用し、自主的に学習する態度を育む。
- ⑥教科会の充実を図り、教員間の同僚性を高める。（時間割に教科会の時間を設ける。）
- ⑦支援が必要な生徒について、個別の指導計画・個に応じた指導計画を作成し、支援が必要な生徒への教職員の共通理解を深め、指導に役立てるための研修会を実施する。
- ⑧個別の指導計画を活用し、LD等支援の必要な生徒の学力を向上させる。
- ⑨朝読書や図書館教育を充実させ、各教科・領域と連携し言語活動を充実させる。
- ⑩協働学習等を通して、言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成するとともに主体的・対話的で深い学びの過程の実現を目指す。

（取組結果を検証する）各種指標

- ・授業はわかりやすいか。生徒は意欲的に授業を受けているか。
- ・生徒は自分の考えや意見を発表することが得意であるか。
- ・問題解決的な課題や探究活動を取り入れた授業を行っているか。
- ・全国学力学習状況調査や学習確認プログラムの結果。
- ・予習シートを仕上げたか。計画通りに学習を進めたか。
- ・全国調査生徒質問紙の結果。
- ・朝読書に積極的に取り組んでいるか。

中間評価

各種指標結果（%の数値は「そう思う」「ほぼそう思う」の合算）

○学校評価アンケート結果

- ・「授業がわかりやすい」…3学年とも80～90%，保護者96.7%，教職員96.4%
- ・「授業に意欲的に取り組んでいる」…3学年とも80～90%，保護者93.4%，教職員100%
- ・「授業での話し合い活動に積極的に参加している」…1年86.1%，2年96.7%，3年90.7%，
教職員（場面設定）96.3%
- ・「意見や考えを人前で発表している」…1年71.3%，2年73.5%，3年83.8%，保護者76.6%，
教職員（力がついた）92.9%，教職員（場面設定）100%

○全国学力・学習状況調査結果（全国平均を100とした指数）

- ・国語AB・数学ABは京都市平均を上回っている。
(国語A+5.1, 国語B+11.1, 数学A+15, 数学B+19.4)
- ・理科は-0.2でほぼ平均である。
- ・「1・2年の授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか。」77.1%
(全国73.8%)
- ・「1・2年の授業で、自分の考えを発表するとき、うまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てを工夫したか」65.6% (全国53.8%)
- ・「話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりできているか」87% (全国76.3%)

○学習確認プログラム結果（京都市を100とした指標、最新結果）

- ・1年生…国語、数学共に平均を上回り、総合+10
- ・2年生…5教科とも平均を上回り、総合+17
- ・3年生…5教科とも平均を上回り、総合+8

○「朝読書に積極的に取り組んでいる」…教職員（重要度）96.4%，教職員（実現度）89.3%

○全国学力・学習状況調査結果「平日の読書時間が1時間以上」…16.1%（全国14.8%）

自己評価

分析（成果と課題）

- 学力向上に向けて、基礎基本の定着は概ね取り組めていると考える。3学年とも学習にも前向きに取り組める環境ができていることが大きな要因になっていると思われる。また、学習確認プログラムに向けての取組（予習・復習シート）もやりきらせる指導を行っているため真面目に取り組んだ生徒は結果に結びついている。
- 全国学力・学習状況調査から、3年生の放課後の時間の使い方として、「通塾」58%（全国42.1%）、「家で勉強や読書」45%（全国42.2%）、「テレビ・ゲーム・インターネット」74%（全国77.3%）の結果が出ており学習に時間を費やしていることがわかる。
- 教員側は話し合い活動や発表の場の設定に積極的に取り組んでいるが、更に問題解決的な課題や探究活動を取り入れた授業について研究・実践する必要がある。
- 朝読書にも落ち着いた環境のもと、しっかり取り組めている。また、3年生は「新聞をほぼ毎日、週1～3回以上読んでいる」16.1%（全国13.9%）も高い結果が出ているので、読書・新聞を読むことを励行したい。

分析を踏まえた取組の改善

今後はより発展的な学習活動を取り入れるために、問題解決的な課題の設定や探究活動を取り入れた授業実践が行われるような授業改善に取り組みたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・授業はわかりやすいか。生徒は意欲的に授業を受けているか。
- ・生徒は自分の考えや意見を発表することが得意であるか。
- ・問題解決的な課題や探究活動を取り入れた授業を行っているか。
- ・予習シートを仕上げたか。計画通りに学習を進めたか。
- ・朝読書に積極的に取り組んでいるか。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・全国学力・学習状況調査において、全国平均を上回っているのはありがたい話である。
- ・これから新しい大学入試に向けた学力をつけるためには、人前での発表や探究活動を取り入れた学習を積極的に進めていってほしい。
- ・落ち着いて読書に励んでいる現状は評価できるが、読書後に要約をさせるなど読解力や国語力を育てる取り組みを検討していただきたい。

最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果

（）内の数値は前期の結果、数値がない場合は同数

○学校評価アンケート結果

- ・「授業がわかりやすい」…3学年とも80～90%，保護者93%（96.7），教職員100%（96.4）
- ・「授業に意欲的に取り組んでいる」…3学年とも80～90%，保護者87.8%（93.4），教職員100%
- ・「授業での話し合い活動に積極的に参加している」…1年86.3%（86.1），2年91.7%（96.7），3年88.5%（90.7），教職員（場面設定）92%（96.3）

	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な課題や探究活動を取り入れた授業 <p>問題解決にむけた考えを大切にした指導…教職員（実現度）96%（92.9）</p> <p>○学習確認プログラム結果（京都市を100とした指数、最新結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生…5教科とも平均を上回り、総合+9(+10) 2年生…5教科とも平均を上回り、総合+18(17) 3年生…5教科とも平均を上回り、総合+11(8) <p>「意見や考えを人前で発表している」…1年 76.4%（71.3）、2年 69.7%（73.5）、3年 83.1%（83.8）、保護者 74.5%（76.6）、教職員（力がついた）88%（92.9）、教職員（場面設定）96%（100）</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習シートの完成提出。計画的な学習…予習シートをやらせきる指導と補習の支援を実施。 <p style="text-align: center;">テスト前学習の計画表作成を指導。</p> <p>○「朝読書に積極的に取り組んでいる」…教職員（重要度）100%（96.4）、教職員（実現度）87.5%（89.3）</p>
--	--

自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>○学力向上に関して、基礎基本の定着は概ね実現できていると考える。3学年とも学習に前向きに取り組める環境ができていることが良い結果に結びついていると考える。また、学習確認プログラムに向けての取組（予習・復習シート）もやりきらせる指導を行っているため真面目に取り組んだ生徒は結果に結びついている。定期テストに関しても計画を立てて見通しを持って取り組むように指導している。また学習に困難を示す生徒には放課後の補習やテスト前学習会で指導を続けている。</p> <p>○授業改善に取り組み、生徒が「主体的・対話的な」学習活動を行う場を設定・実践した結果、どの学年でも80%以上の生徒が「授業に意欲的に取り組んでいる」と答えている。</p> <p>○教員側は話し合い活動や発表の場の設定に引き続き積極的に取り組んでいるが、更に問題解決的な課題や探究活動を取り入れた授業について研究・実践する必要がある。</p> <p>○朝読書にも落ち着いた環境のもと、しっかり取り組めている。</p>
学校関係者評価	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>今後も基礎基本を着実に定着させるとともに、発展的な学習活動を開拓するために、問題解決的な課題の設定や探究活動を取り入れた授業改善に取り組み、深い学びが実現されるような授業改善・授業実践に取り組んでいきたい。</p> <p>重点目標の達成状況、次年度の課題【学校教育において重視する視点1・2】</p> <p>○学校評価のアンケート結果より、重点目標「『学ぶ楽しさわかる喜び』を実感できる授業の創造」の達成に向けて教職員・生徒ともに努力できた結果、高い達成感を得たと考える。</p> <p>○次年度に向けては、より発展的な学習活動に取り組むためのさらなる授業研究、授業改善に取り組むことが必要であると考える。そして次期学習指導要領にそなえ、「主体的・対話的で深い学び」が実現されるような授業を創造していきたい。</p> <p>○今年度に引き続き、各教科からの課題や学習確認プログラムの予習・復習シートの全員提出を目指して家庭学習や学習計画表の指導を徹底する。</p>

学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査や確認プログラムにおいて、上位の結果であることは誇りに思う。 朝読書が、落ち着いて1日を始めるための生徒指導の取組の1つであるかもしれないが、読解力や表現力を伸ばす取組にもなるよう検討していただきたい。
---------	--

- ・教科に関する生徒評価で「わかりにくい」と答えている数値が多い教科があるが教員に課題があるのか。
(＊学校側の説明…英語で多いのは all English で授業を行っているので、苦手な生徒にとっては理解しにくい場面もあるかと思う。)

(2) 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標

豊かな心を育てる「関係」を創り出し、「自尊感情」を高め、それらをお互いに大切にする「態度」を育てる取り組みを推進する。

具体的な取組

- ①すべての教科・領域において、しなやかで豊かな感情を養う指導を行い、より良い人間関係を築く自主的・実践的な態度を育成する。
- ②道徳の時間を中心としたしなやかな道徳教育の実践を推進し、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考え共感できる心を育成する。
- ③生徒一人一人を大切にした信頼関係構築のための心の通った指導・見逃しのない観察・先を見越した対策を推進する。
- ④自己有用感や自己肯定感などの自尊心を高め、一人一人の生徒が「自信と誇り」を持って自らの力が発揮できる、集団づくり、学級経営を推進する。
- ⑤さまざまな教育活動を通じて、障害の特性や障害のある生徒の困りについての理解と認識を深め、互いに尊重し、共に成長し合う教育を推進する。

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・年間計画に基づいて道徳の授業が実施されているか。道徳的価値の理解や道徳的態度・実践力が身につくよう指導されているか。
- ・自尊感情（自己肯定感、自己有用感）を高める集団づくり、学級経営ができているか。
- ・校内美化活動に積極的に参加し、学校の環境をよりよくしていく努力をしたか。
- ・進んであいさつができるか。
- ・普段の交流事業や学校行事、生徒会活動における総合支援学校との交流。

中間評価

各種指標結果

- 学年教員で協力しながら、すべての項目について、年間計画に基づき指導できている。

※学校評価アンケート結果

- ・生徒……「道徳の授業は今後の生活に活かしていく」 1年 94.8%, 2年 92.7%, 3年 83.1%
- 「道徳の授業では意欲的に取り組んでいる」 1年 93.4%, 2年 88.7%, 3年 90%
- ・保護者…「子どもと『道徳』の授業の話をする」 52.5%

- 自尊感情について

※学校評価アンケート結果

- ・生徒……「上京中学校は、人を大切にする学校」 1年 93.5%, 2年 98%, 3年 93.9%
- 「自分は、周囲から大切にされ、自分も人を大切にしている」

1年 92.2%, 2年 92%, 3年 93%

- ・保護者…「子どもは、自分の長所を知り、自分の良さを生かそうと努力している」80.9%
- 「子どもは、自分が大切にされていると感じている」92.6%
- 「子どもは、人を大切にする言動をしている」90.9%
- ・教職員…「生徒は、自分を大切にするとともに他者への尊敬・人権の尊重など実践的態度が養われている」92.9%
- 「本校では、生徒のよいところを認めて適切に評価している」96.4%
- 「本校では、生徒が学年やクラスの一員として個性を生かせる取組をしている」96.4%

※全国学力・学習状況調査

- ・「自分にはよいところがあると思う」80.1% (全国 78.8%)
- ・「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」77.8% (全国 82.2%)
- ・自尊感情が高められるよう、道徳を中心に指導を進めているが、自分に自信が持てず、コミュニケーションを苦手とする生徒がいる実態である。

○美化意識

- ・「学校は、校内の環境美化に取り組んでいる」…1年 95.4%, 2年 96%, 3年 94.7%
- 保護者 96.8%
- ・「自分は、校内美化に努めた」…1年 92.2%, 2年 91.4%, 3年 90.8%
- ・日々の清掃はもちろんのこと、環境委員や部活動を中心に校内美化に励んでいる。

○あいさつ

※学校評価アンケート結果

- ・「あいさつができる学校・生徒」…1年 96.1%, 2年 96.7%, 3年 96.9%, 保護者 80.8%, 教職員 82.1%
- ・「自分はあいさつができる」…1年 92.2%, 2年 90%, 3年 93.1%
- ・生徒会役員やPTAがあいさつ運動をするなど、あいさつの呼びかけを行っている。

○北総合支援学校との交流を行っている。

自己評価	分析（成果と課題）
	○毎週道徳を行うことで項目に偏りなく指導を行うことができ、生徒たちも多様な価値観に触れることで、心の成長ができているように感じる。
	○コミュニケーションを苦手とし、あいさつが自分からできないなど、実践力に課題がみられる生徒がいる。あいさつについては、学校全体としては高い評価をしているにもかかわらず、自分に関しては低い結果になっている。
	分析を踏まえた取組の改善
	○自己の、または集団の長所や課題をとらえ、改善していく取り組みの工夫が必要である。 自尊感情については、教職員や保護者と生徒の認識にずれがあるので、よいところを認めて評価する場面を意識的に増やしていく。 ○あいさつに関しても、教職員が率先してあいさつを交わし、誰に対してでもあいさつをする雰囲気を作りたい。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の授業に向かう姿勢や保護者の道徳への関心。 ・自尊感情（自己肯定感、自己有用感）を高める集団づくり、学級経営ができているか。 ・進んであいさつができるか。

学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに関する数値では、保護者や教職員と生徒の自己評価では差があるが、生徒は頑張っているのではないか。子どもは大人を見て育つのだから、教職員から生徒にも保護者にもあいさつをしている姿を見せてほしい。 ・「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」についての結果（77.8%）は低い。「ほめる」行為を通して、生徒たちの自尊感情を高めてもらいたい。
-----------------------------	--

最終評価

	<p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <p>○道徳の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年教員で協力しながら、すべての項目について、年間計画に基づき指導できている。 ・生徒……「道徳の授業は今後の生活に活かしていく」 <p style="text-align: center;">1年 90.1% (94.8), 2年 93.8% (92.7), 3年 84.1% (83.1)</p> <p>「道徳の授業では意欲的に取り組んでいる」</p> <p style="text-align: center;">1年 87.5% (93.4), 2年 88.2% (88.7), 3年 90.9% (90)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者…「子どもと『道徳』の授業の話をする」 45.1% (52.5) <p>○自尊感情について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒……「上京中学校は、人を大切にする学校」 <p style="text-align: center;">1年 94.8% (93.5), 2年 98.6% (98), 3年 93.9%</p> <p>「自分は、周囲から大切にされ、自分も人を大切にしている」</p> <p style="text-align: center;">1年 91.5% (92.2), 2年 93.8% (92), 3年 95.4% (93)</p> <p>「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」</p> <p style="text-align: center;">1年 89.5%, 2年 91.7%, 3年 93% (3年…本校 77.8, 全国 82.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者…「子どもは、自分の長所を知り、自分の良さを生かそうと努力している」 83.5% (80.9) 「子どもは、自分が大切にされていると感じている」 93.6% (92.6) 「子どもは、人を大切にする言動をしている」 91.6% (90.9) <ul style="list-style-type: none"> ・教職員…「生徒は、自分を大切にするとともに他者への尊敬・人権の尊重など実践的態度が養われている」 88% (92.9) <p>「本校では、生徒のよいところを認めて適切に評価している」 100% (96.4)</p> <p>「本校では、生徒が学年やクラスの一員として個性を生かせる取組をしている」</p> <p style="text-align: right;">100% (96.4)</p> <p>○美化意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃はもちろんのこと、環境委員や部活動を中心に継続して校内美化に励んでいる。 ・「学校は、校内の環境美化に取り組んでいる」 <p style="text-align: center;">1年 96.1% (95.4), 2年 91.7% (96), 3年 95.4% (94.7), 保護者 92.4% (96.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分は、校内美化に努めた」 … 1年 95.4% (92.2), 2年 92.4% (91.4), 3年 83.1% (90.8) <p>○あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員やPTAがあいさつ運動をするなど、あいさつの呼びかけを行っている。 ・「あいさつができる学校・生徒」 <p style="text-align: center;">1年 96.7% (96.1), 2年 97.2% (96.7), 3年 96.9%, 保護者 89.5% (80.8), 教職員 84% (82.1)</p>
--	---

自己評価	<p>・「自分はあいさつができている」…1年 94.8% (92.2), 2年 92.4% (90), 3年 93.1%</p> <p>○本校生徒会役員や育成学級の生徒がスポーツを通して北総合支援学校との交流を行った。</p>
	<p>分析（成果と課題）</p> <p>○考え、議論する道徳授業を実践したことで、自尊感情の高まりや、道徳での学びを日常に生かそうとする生徒がうかがえる。</p> <p>○「評価シート」を取り入れているが、道徳の話が家庭内でされていないという実態がある。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>○保護者の道徳への関心を高めるために、各学年から「道徳だより」を定期的に発行する。</p>
学校関係者評価	<p>重点目標の達成状況、次年度の課題【学校教育において重視する視点3・4】</p> <p>○中間評価時よりも自尊感情の高まりが見受けられる。自尊感情を高める集団づくりや学級経営が概ねできていることがうかがえる。今年度に引き続き、自尊感情の高揚を図るとともに人権尊重を基盤とした集団・学校づくりを目指す。</p> <p>○生徒や保護者の道徳への関心の高まりについては課題が残るので、評価の工夫や「道徳だより」等の発行で啓発を行う。</p> <p>○校則順守をはじめあいさつや美化意識などの規範意識については概ね守られているので次年度も引き続き指導を継続する。</p> <p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情の高揚を図ることは大切であるが、「あかんもんはあかん」という規範意識を先ず身につけてほしい。 ・保護者アンケート調査での中学校教員の言葉遣いが悪いというご指摘に対し、確かに小学校と中学校ではその点でギャップがあり生徒や保護者の受け止め方も異なる。ギャップをなくすことも必要だが社会に出てさまざまな人の中で生き抜けるたくましさを身につけることも必要である。

(3) 「健やかな体」の育成に向けて

<p>重点目標</p> <p>運動やスポーツ及び望ましい生活習慣の実践を通して健やかな体を育成する。</p>
<p>具体的な取組</p> <p>①体育学習や運動部活動をより一層充実させ、組織的・計画的な安全管理を徹底し、生涯スポーツの楽しさが味わえる健康な体づくりを推進する。</p> <p>②運動することの楽しさや爽快感を味わえるような体育的行事に取り組み、心と体を一体とした指導を行い、明るく豊かな生活態度を育成する。</p> <p>③<u>早寝、早起き、朝ごはんなどの基本的生活習慣をさらに確立させるために実態調査を行うと共に、保護者や家庭へも働きかける。</u></p> <p>④薬物乱用防止教育、性教育、エイズ教育等正しい知識を理解させ、心や体を大切にする教育を推進する。</p> <p>⑤学校教育全体を通して防災教育や防災管理を充実させ、自ら命を守る主体的態度や安心で安全な社会づくりの意識を高める。</p>
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べているか。毎日の起床・就寝時間。 ・体力テストや体育的行事の内容や結果。

- ・薬物乱用防止教室、性教育において正しい知識を見つけ、自らの心身を大切にしようとしているか。
- ・避難訓練において自ら命を守る主体的態度が育っているか。

中間評価

各種指標結果

○全国学力・学習状況調査結果

- ・「ほぼ朝食を食べている」92.3%（全国91.9%）、「全く食べていない」3.8%（全国2.6%）
- ・「ほぼ同じ時刻に寝ている」78.6%（全国74.1%）、「全くしていない」9.2%（全国6.5%）
- ・「ほぼ同じ時刻に起きている」92.4%（全国90.3%）

○学校評価アンケート結果

- ・「規則正しい生活を送っている」保護者67.5%

○4～5月に行った体力テストの結果において、男女差はあるものの京都市平均を下回っている種目が半分程度あった。（握力、シャトルラン、立ち幅跳び等）

○全学年7月に、非行防止教室または薬物乱用防止教室を行った。

○避難訓練において、訓練の目的を知り速やかに行動できた。

自己評価

分析（成果と課題）

- 規則正しい生活についてのアンケートは、前期は保護者と3年生の結果だけであるが今後進路選択が近づくと更に乱れる可能性があるので睡眠時間の確保を呼び掛ける必要がある。
- 部活動のガイドラインにより、活動時間が減ったり、運動の専門性により偏った体力が見られたりする。そのため体育の授業における体力の向上が課題になってくる。
- 前期は実際に地震により、グラウンドに避難したり、集団で下校したりすることがあったが、慌てることなく落ち着いて行動できた。また教職員も生徒、保護者への対応がスムーズにできた。

分析を踏まえた取組の改善

- 朝食や起床・就寝時間については後期に全学年でアンケートを実施する。分析を行い顕著な課題について担任からの全体指導や個別指導で生活の改善を図る。
- 体育の授業の中での補強運動や運動の特性と意識した活動を行う。
- 非行防止教室・薬物乱用防止教室を行っているが、全市的な課題として捉え日頃から指導する。
- 身の回りで起こる災害について各々が考え、学校外での対処についても後期の訓練では確認していく。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・朝食を毎日食べているか。毎日の起床・就寝時間。
- ・体力テストを一つの目安とし、全市平均に近づけること。
- ・性教育や避難訓練の実施と実態。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・「ほぼ朝食を食べている」の数値は全国を上回っている一方で、「全く食べていない」も全国を上回っている。朝食を食べない理由について調査する必要がある。家庭環境、習慣化、寝坊等の不規則な生活など原因を調べて対処してほしい。
- ・朝食を食べる意義を理解するために、朝食の摂取や食事内容が脳の働きに及ぼす影響を科学的に教える取り組みをしてほしい。

最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果

○就寝時間

- ・ 11時まで… 1年 42%, 2年 32.2%, 3年 14%
- ・ 1時以降…… 1年 4%, 2年 6%, 3年 23.3%

○起床時間

- ・ 7時まで………… 1年 46.3%, 2年 43%, 3年 38%
- ・ 7時30分以降… 1年 9.9%, 2年 14.1%, 3年 22.5%

○朝食

- ・ 必ず食べる… 1年 80.8% (78.6), 2年 85.2%, 3年 79.8%
- ・ 食べない…… 1年 2%, 2年 2.7%, 3年 3.1% (3年…本校 3.8%, 全国 2.6%)

・ 朝食を食べない生徒の理由 (61人回答、複数回答可で集計)

時間がない32人、お腹がすかない13人、寝坊6人、面倒くさい4人、

食べるといい・腹痛3人、時間がもったいない〈宿題したい。寝たい。〉2人

前日の夕食が遅い、メニューが気に入らない、ごはんが用意されていない 各1人

○「規則正しい生活を送っている」保護者 68.4% (67.5)

○3学期に全学年で性教育、年間2回の避難訓練、ケータイ・スマホ教室、非行防止教室、薬物乱用教室を各学年で実施した。

自己評価

分析（成果と課題）

○生活習慣アンケートを実施し、本校の実態が見えた。朝食を食べない理由としては「時間がない」が一番多く、その理由として就寝時間が遅いことが挙げられる。また食べてはいるが、パン（菓子パン）のみという生徒も目立つ。習い事や家庭学習、ゲームなどで就寝時間が遅くなっている。

○1年生保健体育の授業での生徒からの聞き取りでは、携帯ゲームやYouTube, SNSなどに費やす時間が長いように思われる。

○性教育は「男女が互いに尊重し合える関係づくり」を目標とし、学年ごとにテーマを設定して継続的な指導を行った。2年生では助産師を講師に迎え、専門的な立場から講演、ご指導をいただいた。

分析を踏まえた取組の改善

○1年生では朝食の大切さや睡眠時間の確保と質の良い睡眠について自己の生活を振り返りながら、保健の授業の中で指導した。

○朝食の内容（パン食ならサラダや卵料理など1品プラスして質を高める）や生活習慣の改善に向けた指導を工夫する。

重点目標の達成状況、次年度の課題 【学校教育において重視する視点3】

○体力面では体力テストの結果で全市平均を下回る結果であったが、体育の授業では体力の向上を意識して授業を行っている。すぐに結果出るわけではないので、3年間という長いスパンで働きかけていく。

○生活習慣の改善については保健の授業だけではなく、食教育の充実を目指した取り組みを行うなど、1年を通して生徒に意識づけていくことが必要であり各家庭の協力が欠かせない。生徒・

	<p>保護者への啓発を随时に行っていく。</p> <p>○今年度に引き続き、発達段階に応じてケータイ・スマホ教室、非行防止教室、薬物乱用教室、を実施する。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果がいくつか全市平均より低いが、小学校からの課題でもある。小学校では遊具がないと基礎体力がつかないと聞いたことがある。 ・街中のため遊び場所が少ないと一因あるのではないか。 <p>(＊学校側からの補足…体育系部活動への入部率は約80%，学校外のクラブチームに所属している生徒もいる一方で、友人との遊びはゲームが多いことや昼休みにグラウンドで遊ぶ生徒が少ないとなど説明した。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前実施していたマラソン大会は、自主練習をする生徒もいて体力づくりの観点から良かった。

(4) 学校独自の取組

<p>重点目標</p> <p>小中一貫教育を推進する。</p> <p>学校からの情報発信を充実する。</p>
<p>具体的な取組</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小中合同研修会を実施する。 ② 小中主任会を充実させる。 ③ 小学生を対象に部活動体験と授業体験を実施する。 ④ 校区の小学校・幼稚園・保育園とともに上京中学校で「ふれあいコンサート」を開催する。 ⑤ 地域行事に積極的に参加しているか。 ⑥ 学校だより・学級通信の発行やホームページの更新を積極的に行う。
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育構想図に示した「めざす子ども像」について小中で共通のアンケート項目を設定する。 (人を大切にする。あいさつをする。進んで学ぶ。自分の考えを表現する。地域を愛する。) ・小中連絡会を計画的に実施し、保育園・幼稚園・小学校と中学校で開催する上京中ふれあいコンサートを行う。(10月27日実施) ・小学校と中学校合同の研修会や、部活動体験を行う。 ・通信やホームページで学校の様子を情報発信する。

中間評価

<p>各種指標結果</p> <p>○学校評価アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域を愛し地域行事に参加」…1年 67.1%，2年 57%，3年 65.4%，保護者 78.3% 教職員 85.2% <p>○全国学力・学習状況調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会でボランティアに参加」…64.9% (全国 73.6%)
--

	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域や社会での問題や出来事に关心」…58.1%（全国 59.3%） ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」…37.4%（全国 38.7%） <p>○小中合同研修会を夏季休業中に1回、小中校長会をはじめ教務主任会、研究主任会を複数回実施。</p> <p>○部活動体験は台風による休校のため3日間の予定が2日間になったが実施できた。</p> <p>○学校・学級通信の発行やホームページで情報発信を行っている。</p>
--	---

自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域・社会への関心に関する肯定的な回答が低い。部活動ガイドライン（土日1日は休み）の実施に伴い休日の過ごし方が課題である。 ○夏季小中合同研修会では小中の「めざす子供像」の1つである自己有用感・自己肯定感について講演を聴く全体会を行い、教職員の資質向上が図れた。その後、各分掌・係での分科会を開催し小中間の情報交換ができた。 ○小中校長会をはじめ教務主任会、研究主任会を定期的に実施できた。これを機に作成文書や会議の記録を保存できるようにプロジェクトフォルダを作成し共有できるシステムを作った。 ○部活動体験の実施により、児童は中学校の一面を体感できたと思う。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中の「めざす子供像」について、教職員が共有できるよう周知徹底が必要である。 ○地域行事やボランティアに参加するように、学校・保護者・地域からの呼掛けを協力して行いたい。 ○校長・教務主任・研究主任に留まらず各分掌・係での小中連携会を複数回実施することを目標としたい。また、小中間での授業参観・研究討議を実施する。 ○後期に予定されているふれあいコンサートや授業体験を保幼小中連携のもと開催する。 ○通信やホームページでの情報発信を活発にすると同時にPTAメール配信への加入率を上げ、特に災害等の情報連絡網を確立し危機管理体制を整えたい。
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育構想図に示した「めざす子ども像」について小中で共通のアンケート項目について検証する。小中で結果の共有・検証ができるることを目標としたい。 (人を大切にする。あいさつをする。進んで学ぶ。自分の考えを表現する。地域を愛する。) ・小中連絡会を計画的に実施し、保育園・幼稚園・小学校と中学校で開催する上京中ふれあいコンサートを行う。 ・小学校と中学校合同の授業研修会や、授業体験を行う。 ・通信やホームページで学校の様子を情報発信すると同時に情報連絡網を確立する。 ・PTAメールやホームページの受信状況を把握するために、PTAによるアンケートを実施し集約する。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域は地域活動を活発にしているが、生徒（子ども）は招くことが多く手伝わせることは少なかった。ただし、一つの小学校区では、部活動の部員や小学生が兄弟姉妹にいる中学生のボランティアを募集し活動を始めている。 ・区民体育祭に吹奏楽部が演奏しているが、演奏よりも競技に参加させることに重きをおいてはどうか。 ・PTAや地域生徒指導連絡協議会が行う講演会などの案内は、学校運営協議会やKKP（烏丸・上京プロジェクト）である2中4小学校にも送り保護者・地域のつながりを広めていく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校ではない学校で小中一貫教育は難しいと思うが、よく推進されていると思う。 <p>(*学校側の説明…本校校区には公立の保育所・幼稚園があるので保幼小中の取組を進めている。それぞれの取組ややり方は異なるが、「子どもをどのように育てるか」共通する方向性を見出す話しを行っている。「自尊感情を高める」「自分を表現する」等の共有できることを目指している。)</p>
--	--

最終評価

自己評価	<p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <p>○小中一貫教育構想図に示した「めざす子ども像」について小中共通のアンケート項目 (人を大切にする。あいさつをする。進んで学ぶ。自分の考えを表現する。地域を愛する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域を愛し地域行事に参加」 1年 71.9% (67.1), 2年 51.7% (57), 3年 61.1% (65.4), 保護者 70.2% (78.3) 教職員 75% (85.2) <p>○小中主任会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会 4回, 教頭会 1回, 教務主任（小中連携主任）会 6回, 研究主任会 3回, 生徒指導部長会 1回実施 <p>○小中合同授業参観 1回, 児童授業体験 1回実施</p> <p>○保育園・幼稚園・小学校, 中学校合同行事「上京中ふれあいコンサート」の実施</p> <p>○学校だより, 学校ホームページでの情報発信（アクセス数 約90件/日）</p> <p>○PTAホームページ, メール配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール配信の受信状況を把握するために, PTAによるアンケート実施・集約 ・メール登録数 382件 (88.8%)
	<p>分析（成果と課題）</p> <p>○学校評価アンケート</p> <p>「地域を愛し地域行事に参加」については1年生以外前期より下がっている。区民体育祭や地域行事への部活動部員の参加はあるが一部の生徒でしかない。</p> <p>○小中主任会</p> <p>校長会, 教務主任（小中連携主任）会をはじめ研究主任会, 生徒指導部長会を今年度実施することができ組織的に取り組めた。</p> <p>○教員全員が最低1回は小学校の研究発表会（授業参観）に参加できたことは意義があった。</p> <p>○保育園・幼稚園・小学校, 中学校合同行事「上京中ふれあいコンサート」が無事に実施できた。</p> <p>○学校だより, 学校ホームページでの情報発信ができている。</p> <p>○自然災害が多かった今年度, 情報共有の重要性を改めて痛感させられたため, PTAメール配信の受信状況を把握するアンケートが実施された。その結果ほとんどの家庭で受信できることが判明した。また, 何度もPTAメールの登録を呼びかけたおかげで登録数も昨年度より増加した。</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>○「地域を愛し, 地域行事に参加」する生徒を育成するためには, 地域・保護者・教職員が同じ方向性をもって生徒に接する必要がある。「道徳」における“郷土愛”の学習や区民体育祭の日は部活動を控えるなど教職員の意識付けを行う。</p>

	<p>○小中主任会で、小中合同研修会の充実と合同行事の効率化に向けて検討を重ねる。</p> <p>OPTA メールを周知し今年度同様登録数を増やす。</p>
重点目標の達成状況、次年度の課題 【学校教育において重視する視点 4】	
学校 関 係 者 評 価	<p>○小中一貫教育構想図に示した小中共通のアンケート項目について、各々の学校で実施したが集計結果についての共有・検証はできなかった。次年度は実施したい。</p> <p>○小中主任会が活性化してきている一方で、教頭会の開催が時間的に難しい。しかし、次年度は上記アンケートの検証を中心に教頭会を行いたい。</p> <p>○「地域を愛し地域行事に参加」の項目に関しては、小学校でも低い数値が出ている。小中一貫の視点で見ると校区の少年補導委員会では小学生向けの地域行事を多く企画していただいている。その基盤をもとに地域の方々との交流や地域・社会貢献への意識を高めたい。</p> <p>○道徳で「郷土愛」について学習した時、「地域に守られている」「地域の方々に世話をなり感謝している」という意識はあるが、「地域貢献」への意識は低いことがわかった。先ずは、「自分の近くにいる人のために何かをする」という意識をもたせるところから始める。</p>